A.Sharp の立体(7)

中川宏

シャープの立体 No.7 は、正十二面体の各面に正五角錐を貼り付けた三角60面体である。12種の新立体のなかで最も正多面体に近いとシャープが言うゆえんは、すべての頂点が外接球に載り、すべての面が合同で内接球に接することであろう。のちのカタラン立体の五方十二面体は極めてよく似た立体であるが、外接球に載らない頂点があるかわりに二面角はすべて等しい。また、和算家・会田安明編「算法截籠集」の三角六十等面は、正十二面体に側面正三角形の正五角錐を貼り付けた凹多面体である。

Sharp's solid No.7(60 triangles)

